

# 小樽市立望洋台小学校 学力向上改善プラン

## 1 実施期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 2 児童の実態

昨年度の定着目標に対する達成状況は、国語・算数についての学年でも解き直しを行うなど知識の定着を図るように努め、概ね目標を達成できた。

学習・生活習慣については、全学年で家庭での学習習慣の定着度が向上したが、学年が上がるにつれて達成状況が下がるなど、課題が残った。

全国学力・学習状況調査及び標準学力調査の結果、およびチャレンジテストの定着目標については、目標値をわずかに下回り、自分の考えを論理的に説明する力に課題を残した。

## 3 学年ごとの定着目標（数値目標）

### <国語科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト全道平均以上。 ・「国語の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
2年	・チャレンジテスト全道平均以上。 ・「国語の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
3年	・標準学力調査全国平均以上、チャレンジテスト全道平均以上。 ・「国語の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
4年	・チャレンジテスト全道平均以上。 ・「国語の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
5年	・標準学力調査全国平均以上、チャレンジテスト全道平均以上。 ・「国語の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
6年	・全国学力・学習状況調査全国平均以上、チャレンジテスト全道平均以上。 ・「国語の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。

### <算数科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト全道平均以上。 ・「算数の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
2年	・チャレンジテスト全道平均以上。 ・「算数の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
3年	・標準学力調査全国平均以上、チャレンジテスト全道平均以上。 ・「算数の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
4年	・チャレンジテスト全道平均以上。 ・「算数の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
5年	・標準学力調査全国平均以上、チャレンジテスト全道平均以上。 ・「算数の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。
6年	・全国学力・学習状況調査全国平均以上、チャレンジテスト全道平均以上。 ・「算数の授業が楽しい・よくわかる」と回答する児童が85%以上。

### <学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
1年	・20分以上の家庭学習達成率70%
2年	・30分以上の家庭学習達成率70%
3年	・40分以上の家庭学習達成率70%
4年	・50分以上の家庭学習達成率70%
5年	・60分以上の家庭学習達成率70%
6年	・70分以上の家庭学習達成率70%

## 4 目標を達成するための具体的な方策

### (1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①週に一度の「スパイラルタイム」（既習内容の復習）の実施
- ②算数科における習熟度別少人数指導、T・Tの実施

- ③「チャレンジテスト」・「確認テスト」の実施
- ④毎日の宿題・音読・解き直し（誤答訂正）の継続

### (2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①「小樽 授業づくり5つのステップ!!」に基づいた授業実践
- ②子どもが主体となった学習活動における効果的なICTの活用
- ③「記述式の問題」や「条件に沿って解く」問題を取り入れた授業づくりの工夫
- ④論理的に話したり、自分の言葉で説明をしたりする活動を取り入れた授業づくりの工夫
- ⑤学習過程における振り返りの工夫（校内研修との連携）

### (3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①学年に応じた家庭学習の目的・内容等の周知（手引き）及び定期的な各学級の取組状況の確認（家庭での学習習慣がない児童を0にする）
- ②「生活リズムチェックシート」を活用した家庭の意識向上
- ③各家庭でテレビ視聴、ゲーム・携帯等の時間についてのルール作りの啓蒙（ノーゲームデー・スマート7等）

### (4) その他

- ①「生徒指導」の機能を活かし、学ぶ意欲、自己存在感、自己有用感の高揚、共感的な人間関係づくり

## 5 実施計画

年月日	計 画 内 容
R5年	
4月	・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・チャレンジテストの実施 ・学力向上プラン共通理解及び保護者への周知 ○R5全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自己採点 ○標準学力調査実施（第3学年・第5学年）
5月	・学級経営案に基づいた児童理解交流
6月	・生活リズムチェックシートの活用
7月	○標準学力調査結果分析 ・1学期「確認テスト」の実施 ・チャレンジテストの実施 ・学校評価の実施、分析 ・夏休み学習会
8月	・改善プランの取組検証
9月	○R5全国学力・学習状況調査結果分析
10月	○保護者への調査結果の説明 ○学力向上改善プランの評価・改善
11月	・児童理解支援ツール「ほっと」の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・公開研究会実施
12月	・生活リズムチェックシートの活用 ・2学期「確認テスト」の実施 ・チャレンジテストの実施 ・学校評価の実施、分析 ・冬休み学習会

R6年	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムチェックシートの活用</li> <li>・学校関係者評価の実施と公表</li> <li>・全国学力・学習状況調査過去問題の実施</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新学力向上改善プランの作成</li> <li>・3学期「確認テスト」の実施</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジテストの実施</li> <li>・学力向上改善プラン作成</li> </ul>

## 6 評価方法

### (1) チャレンジテストおよび確認テスト

学期毎にチャレンジテストおよび確認テストを実施、評価

### (2) 標準学力調査、全国学力・学習状況調査

- ①標準学力調査結果の経年比較・分析
- ②全国学力・学習状況調査結果を経年比較・分析
- ③学習意欲や理解、家庭学習の取組状況等を評価

### (3) 各種アンケート

- ①7月・12月に行い、結果分析（児童・保護者・教職員）

### (4) 生活リズムチェック

- ①8月、1月にシートを活用し、生活実態等を評価